

新型コロナウイルスの感染拡大で、生活に影響を受けている子育て家庭をサポートするため、県内の子ども支援団体が「フード&ライフ ドライブ」を始めた。地域住民から食料品や日用

県内支援団体

品を募り、希望者に無料で提供する。11、12日は岡山市で支援品を集める。

(井上建吾)

倉敷市内で「子どもの居場所」を運営する一般社団法人「子どもソーシャルワークセンターつばさ」が主催。ひとり親世帯やコロナ禍で経済的に打撃を受けていたり、外出が難しくなっていたりする家庭などを支援する。食料品は消費・賞味期限2カ月以上の缶詰、カップ麺、レトルト食品、菓子、飲料など、日用品は未使用・未開封のマスク、トイレットペーパー、紙おむつ、洗剤などの寄付を呼び掛けている。

子育て家庭の力に

両日とも午前10時～午後2時。

4月中に他地域でも支援品を募り、行政や社会福祉団体と連携して5月上旬、希望家庭に届ける予定。

感染拡大の影響で、勤務時間の短縮や休業を余儀なくされ、収入が減っている世帯もある。

地域住民から寄せられた支援品を確認するつばさのスタッフら。4日、倉敷市



るとみられる。つばさの紀奈那代表理事は「先の見えない状況に子どもたちも不安を感じている。困っている家庭を少しでも支え、気にかけてくれる

食料、日用品提供 岡山で11、12日 寄付呼び掛け

倉敷市内で4日、支援品を集める場を設

け、地域住民らから食料品491点、日用品113点が寄せられ

た。11、12日は岡山市内、倉敷市、あつたか食

の子ども食堂(東山つが共催)、岡山市立操

なかりキッチン、この山公民館(同市中区国

つばさ(0800-2903-6612)。